



問 圏央道インターチェンジ周辺地域の整備について

答 造成工事、道路、埋蔵文化財の調査等計画どおり進んでいる

問 土地区画整理事業の進捗状況及び完了予定は。

都市建設課長 造成工事については3割程度。道路の一部、橋梁2か所についても今年度発注予定。埋蔵文化財調査も予定どおり進めている。

新4号国道の立体化については、国の見解としては6車線化に合わせて実施するが、いつ頃になるかは回答を得られていない。

また、冬木橋個所の平面交差、歩道橋の設置は、国に対して右折機能を備えた交差点の改良を

強く要望していく。歩道橋の設置は冬木橋のあり方を検証し検討する。

問 今後、開発区域の拡張は。

町長 現在行われている区画整

理事業を着実に推進し、事業の進捗を見ながら開発区域の拡張、あるいは新たな開発区域の選定について検討をしながら進めていく。



新4号国道から見た冬木橋

問 五霞町公共施設等総合管理計画について

答 平成29年3月末までに策定を進めている

問 各施設の現状と今後の進め方について。

政策財務課長 主な施設で役場庁舎西側の建物が築53年、東側が築33年、東小学校が築45年、西小学校が築44年、中央公民館が築36年、中学校は築12年経過している。

今後の計画策定の進め方については、すでにアンケート調査を8月に実施している。また、9、10、12月には住民、行政職員による対話の場を設け、また、パネルディスカッションを年明け2月ごろ行い、3月末までに計画の策定目標に向けて進めている。

たす役場を優先的に建替えなくてはならないと思うが。

町長 役場については、昨年、近隣市町で起こった災害の教訓を生かし、今後、災害に強い施設としての整備が重要であると

思う。

また、関係公共施設の整備経費を公共施設等総合管理計画事業準備基金として新たに創設し、財源を積立てしていく。



役場庁舎

問 災害時等に重要な役割を果